

(4) 学校教育学部

④ 学びのひろば

ア 運営・活動の状況

i) 学びのひろば支援部会設置の趣旨（目的）及び組織

学びのひろば支援部会は、教員養成学部における教職を志す学生の教員としての実践的指導力育成に資するため、学生が種々の体験活動を通じて、子ども達とふれあい、子どもの気持ちや行動を理解できる機会を設けることを目的に教務委員会の下に専門部会として設置されており、「学びのひろば」の学生事務局指導教員及び各クラブ顧問教員の計 12 人で構成している。

ii) 支援部会等の開催状況

令和 2 年度においては、4 月 6 日（月）に新入生オリエンテーションの資料として「学びのひろば」パンフレットを配付したほか、7 月 29 日（水）にガイダンスを実施した。また、学びのひろば支援部会を以下のとおり 3 回開催した。

- ・ 第 1 回 平成 2 年 5 月 28 日（木）
- ・ 第 2 回 令和 2 年 10 月 30 日（金）（書面審議）
- ・ 第 3 回 令和 2 年 3 月 10 日（水）

iii) 審議された主な事項

- ・ 令和 2 年度学びのひろば実施計画
- ・ 令和 2 年度学びのひろば活動状況
- ・ 令和 3 年度学びのひろば活動計画

iv) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの活動を実施することが非常に困難であった。活動の可能性を検討し、地元児童は招かず、大学生のみでの活動を各クラブ 2 回実施した。実施状況は、次のとおりである。

- ・ 第 1 回 令和 2 年 11 月 28 日（土）、29 日（日）
- ・ 第 2 回 // 12 月 19 日（土）、20 日（日）

イ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

平成 10 年度から始まった「学びのひろば」の活動が地域に定着しており、例年 300 人を超える地域の小学生が参加している。令和 2 年度は地域の小学生の参加は見送ったが、大学生のみではあるが可能な範囲での活動を行うことで、今後の活動の継続性を確保した。

ii) 今後の検討課題等

学びのひろばの支援体制について、各クラブ顧問教員等の確保が課題であるとともに、「学びのひろば」における体験的活動を今後も継続して実施するため、感染症対策を含め、参加学生・児童の安全管理体制の充実を図る必要がある。